

## JTEC の医療 DX 推進への取組

JTEC では、医療 DX の推進を 2024 年度の重点テーマの一つに掲げ、その実現に向けて、案件形成を見据えた「医療分野に関する知見の獲得」や「医療関係者との人脈の構築」に注力してまいりました。

2023 年度には、ブータンにおける画像診断支援 AI ソリューションの導入可能性調査を実施し、同調査はブータン政府より高く評価され、2024 年 5 月には同政府から JICA に対して技術協カプロジェクトの要請書が正式に提出される成果につながりました。一方で、日本の医療専門家の参画が得られなかったことから、日本の医療技術や実践的ノウハウを十分に提案内容へ反映できなかった点は、今後の案件形成における重要な課題と認識しています。

この反省を踏まえ、2024 年度は、医療および医療 DX に精通した専門家や関連企業との連携・意見交換を通じて、実践的な知見を蓄積するとともに、案件形成を支える人的ネットワークの強化にも取り組んでまいりました。

- 日本遠隔医療学会<sup>1</sup>への加入（4 月）  
医療や医療 DX に係る知見・人脈の発掘を目的に日本遠隔医療学会に加入。結果として、近藤会長をはじめ、香川大学、メロディ・インターナショナル、e-CHIK<sup>2</sup>からご指導いただくことができ、ケニアでの周産期医療に関する調査・実証案件に繋げることが出来た。（案件申請中）
- JTEC 講演会の実施（7 月） <https://www.jtec.or.jp/free.php?id=171>  
2024 年度の JTEC 講演会では、「医療 DX」をテーマとして総務省、日本遠隔医療学会、日本電気、エルピクセル<sup>3</sup>、e-HCIK の皆様にご講演いただいた。特にエルピクセルとは、本講演会をきっかけに協業検討を開始し、ベトナムでの案件形成に取り組み中である。
- その他医療団体や企業の発掘（通年）  
医療関連の展示会への参加や海外での医療案件に積極的な組織・団体へのアプローチを実施しました。特に結核予防会<sup>4</sup>とは、結核対策案件の協議を開始し、モンゴルやフィリピンでの案件形成に取り組み中である。

JTEC の医療 DX の推進では、2024 年度を取組を継続・強化しつつ、具体的な案件形成の実現に取り組んでまいります。そして、医療現場の効率化、都市と地方の医療格差の解消等を実現することで、開発途上国の課題解決に少しでも貢献できるよう、今後とも努力してまいります。

---

1 日本遠隔医療学会：遠隔医療の臨床的、経済的、社会的側面からの知見を集約し検討を加えることで、科学的エビデンスを積み上げ、地域や在宅における健康増進や医療・介護支援に貢献することを目的とした一般社団法人。 <https://telemed-telecare.jp/>

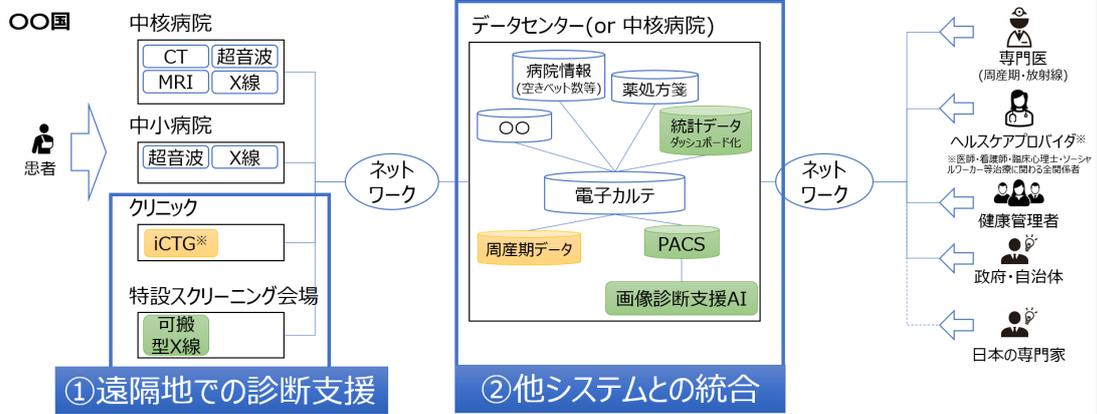
2 e-HCIK：情報ネットワークを通して保健・医療、福祉の増進、社会教育の推進、情報化社会への推進に寄与することを目的とした香川の NPO 法人。 <https://ehcik.localinfo.jp/>

3 エルピクセル：AI(人工知能)と、ライフサイエンス(生命科学)の知見を融合することで、医療・ヘルスケアの分野に革新をもたらし、人々の健康に貢献することを目指した日本発先端医療 AI 企業。 <https://pixel.net/>

4 結核予防会：昭和 14 年閣議決定により設立された公益財団法人。結核制圧のために日本のみならず海外においても積極的な活動を実施している。 <https://www.jatahq.org/>

# 医療DXに関するJTECの取組

- 遠隔医療学会を通じて「医療DXは「人の見える化」ではなく「コンピュータの見える化（システム統合）」が大切」と認識。
  - JTECでは、途上国の実情を踏まえ、「医師不足」や「都市と地方の医療格差」等への対応を行うために、①遠隔地での診断支援と②他システム統合の実現を中心とした取組を推進していきたい。
- ※ターゲット分野：画像診断支援AIソリューション、周産期・分娩監視ソリューション



※CTG：Cardiotocogram（胎児心拍数陣痛図）